横尾小学校便り
令和６年度　第２８号　R06.11.01（金）

みがけ心　きたえ体（のばせ力）

横尾っ子だより

わくわく夢がある学校づくり
＝ウェルビーイングの風を横尾小から＝

文責　校長　河野 正勝

「横尾まつり」子ども神輿

「横尾まつりを 10/27 に控えた前日、大中小、三体の子ども神輿が横尾地区を練り歩きました。心配された天気も午後からは青空がのぞくほどに回復し、子供たちの元気いっぱいの「ワッショイ、ワッショイ」の声が横尾地区に響き渡りました。

秋寄公園で開会式を済ませた後、三体の神輿が分かれて横尾地区全体を練り歩きました。小神輿と中神輿は、老人介護施設の慰問も行いました。介護施設に入居されているお年寄りの方々と職員の皆さんにたいへん喜んでいただきました。

また、道中ではお花をくださる家々も多く、ご自宅の前で神輿が上下に躍動しました。途中で休憩を取りながら、ハンバーガーの差し入れもいただきながら、約３時間の子ども神輿の町内行脚が終了しました。

子ども神輿が横尾地区に「横尾まつり」の開催を知らせるとともに、元気と幸せを届けました。

第 37 回横尾まつり

子ども神輿が、横尾地区を練り歩いた翌日の 27 日（日）「第 37 回横尾まつり」が開催されました。朝から晴天に恵まれ、今年も横尾っ子をはじめ、保護者の方、地域の方、また、横尾地区以外からも多くの方が会場に集まりました。3,000 人は集まると言われている「横尾まつり」、今年も体育館でのステージ、屋外の各出店、展示コーナー、遊びコーナー、いずれも大盛況でした。

横尾っ子も、横尾まつりポスターの表彰から子ども神輿の演技（左側下画像 2 枚）、4 年生の子ども横尾だんじり、放課後子ども教室カメリアブラスの演奏・合唱、スター誕生と、はつらつとしたステージを披露しました。いずれも、たいへんすばらしかったです。会場からは、大きな拍手が響き渡りました。

横尾中のソーランやブラスバンド演奏、みやま幼稚園の龍おどりなど、その他の地域の方々のステージも、たいへん盛り上がりました。また、今年は、長崎外国語大学の箏曲部や NWord のダンスの出演があり、外国語大学との共演という新たな取組も見られました。最後は、恒例の抽選会で「横尾まつり」の幕を閉じました。

会場の横尾小は、終日、横尾っ子はもちろん、参加された皆さんの幸せいっぱいの笑顔で包まれました。